

科目名	かごしま教養プログラム	
担当者	本学教員の他、県内12の大学・短大等教員	
科目情報	かごしま教養科目 / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	「かごしまフィールドスクール」とセットで受講すること	
授業マトリクス上の位置づけ(科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	文化・社会・人間・環境・情報についての基礎的知識および科学的思考方法を身につけている	
科目概要	授業内容	グローバルな視点から地域の個性化・活性化を考える2泊3日の集中授業。鹿児島を素材にして、講義、グループ学習、討論、発表を行い、切磋琢磨しながら学ぶ。
	到達目標	1) 講義で提示される鹿児島独自の文化・自然・社会・産業などの統一テーマを理解し、問題点を整理できる。 2) 統一テーマに関連する問題点をグループで討論し、まとめて発表できる。 3) 統一テーマに関するグループの結論をレポートにまとめることができる。
授業計画	<p>8月下旬に3日間の集中学習を行う予定。 日程・内容等が決まり次第、別紙を配布する。</p>	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。</li> <li>・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。</li> </ul>
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容等に関連する文献等を読み、紹介した場所等の検分を安全に配慮した上で行うこと。</li> </ul>
使用教材・参考文献	<p>【教】 なし</p> <p>【参】 資料を配布する</p>	
成績評価方法と基準	<p>&lt;基準&gt;</p> <p>&lt;方法&gt; ① 討論・発表60%、② レポート40% で評価する。 上記の評価方法により、60点以上に達したものを合格とする。</p>	
備考	<p>受講条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「学問へのステップⅠ」「学問へのステップⅡ」のいずれかを履修中または履修済みであること。</li> <li>2. 「かごしまフィールドスクール」とセットで受講すること。</li> </ol>	

科目名	かごしまフィールドスクール	
担当者	本学教員の他、県内12の大学・短大等教員	
科目情報	かごしま教養科目 / 選択 / 前期 / 実習 / 2単位 / 1年次	
	「かごしま教養プログラム」とセットで受講すること。	
授業マトリクス上の位置づけ(科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	文化・社会・人間・環境・情報についての基礎的知識および科学的思考方法を身につけている	
科目概要	授業内容	鹿児島を舞台とした自主的な体験学習。対象地域の特徴、暮らし、住民意識などを実践的に学習し、地域を活性化していくための方策をグローバルな視点で考察する。
	到達目標	1) 調査地区の実地視察や関係者との交流を通して地区の特徴を把握し、テーマに関する調査をする。 2) 地区の活性化の可能性・展望を探り、グループで改善策を討論する。その結果を地元の人達に発表する。 3) 実地調査、討論、発表で得られた成果をまとめたレポートを作成する。
授業計画	8月下旬に「かごしま教養プログラム」に続いて、2泊3日のフィールドワークを行う予定。 日程・内容等が決まり次第、別紙を配布する。	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・内容等に関連する文献等を読み、紹介した場所等の検分を安全に配慮した上で行うこと。
使用教材・参考文献	【教】 なし	【参】 資料を配布する
成績評価方法と基準	<基準>  <方法> ① 討論・発表60%、②レポート40%で評価する。 上記の評価方法により、60点以上に達したものを合格とする。	
備考	受講条件 1. 「学問へのステップⅠ」「学問へのステップⅡ」のいずれかを履修中または履修済みであること。 2. 「かごしま教養プログラム」とセットで受講すること。	